

探究的な学びを支援する生成 AI の挑戦と課題

オーガナイザ：大崎理乃（島根大学），近藤伸彦（東京都立大学），松河秀哉（東北大学），
江草遼平（千葉商科大学），高橋聡（名古屋大学，グロービス AI 経営教育研究所）

大規模言語モデル(LLM)を利用した生成 AI の衝撃的な登場から 2 年以上が経ち，教育学習支援システムでの利用の事例が発表されるようになってきました．今日では，加熱しすぎた期待もやや落ち着き，多様な利用方法の可能性や，支援する学びの姿に応じたチューニングに関する議論も始まっています．また一方で，学校での試験的な利用が進む中で，教育実践の現場に生成 AI を導入することの技術的・社会的・教育的課題も明らかになってきています．

本プレカンファレンスでは，教育実践における生成 AI 利用の中でも，探究的な学びの支援に焦点を当て，テクノロジーと教育の両側面から，これからの教育学習支援システムについて参加者の皆様と議論する場を提供いたします．小学校，中学校での「総合的な学習の時間」，高等学校での「総合的な探究の時間」に代表されるように，初等中等教育では授業の中に探究学習が組み込まれ，いまやほぼ全ての教員がその指導に取り組んでいます．また，大学では，伝統的な卒業研究のみならず様々な探究的学びの機会が増え，より多様な学生の探究活動を支援することが教員に求められています．このような状況での課題を解決するための議論を目的に，オーガナイザーたちがこれまで関わってきた大学と高校での探究学習支援の事例共有と，そのために開発された探究活動支援 AI の操作体験の場を準備いたします．また，高等学校での授業実践者からの情報提供も予定しております．

参加申し込み方法および持ち物については，プレカンファレンス Web サイトにてご案内いたします．

現場の教職員の皆様，教育システム情報学に関する研究者の皆様，学習支援システムにかかわる企業の皆様，将来教員を目指す学生さんをはじめ，多くの方々のご参加をお待ちしております．

当日のスケジュール（予定）

9:00-9:10 主旨説明

9:10-10:20 システム開発の挑戦と課題

本研究チームが開発中の生成 AI を利用した探究活動支援システムの紹介とデモを行い，教育実践に組み込むための技術的制約や，学びの足場としての生成 AI の利用などについて議論します．

（休憩）

10:30-11:40 教育実践の挑戦と課題

大学と高校での実践の紹介と，それらを踏まえたディスカッションを行います．探究活動に生成 AI の利用を取り入れている高校の先生をゲストとして招き，授業実践の工夫や課題を伺うとともに，私たちがこれからどのような取り組みを行うことができるか議論します．

・ゲストトーク：課題研究支援としての AI の可能性と課題（仮）

（鳥取県立鳥取西高等学校 中村秀司，坂尾俊介，清水雅幸）

11:40-11:50 まとめ